

臨時特集号

市民の知る権利に応える

傍聴席

The Gallery

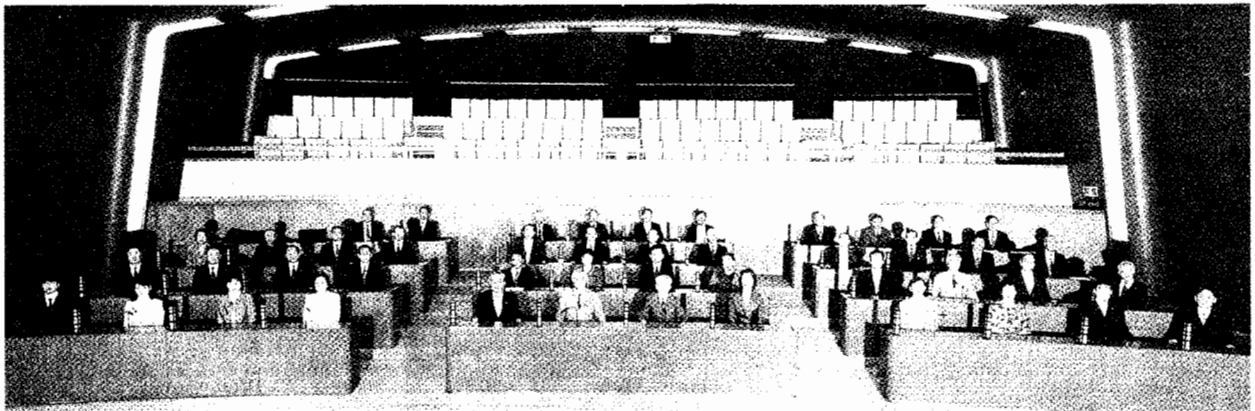
ザ・ギャラリー

2007(平成19)年2月11日(日) 発行・相模原市議会をよくなる会(設立1999年)

「相模原市議会をよくなる会」は不偏不党・中立の立場を守る会です。

あなたの選んだ

相模原市議会議員の『通信簿』



写真は「市議会だより」(2005年6月1日)から

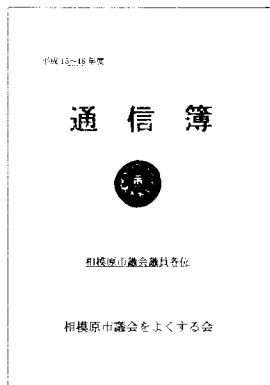
● 公約への努力度は? → I. 公約編 (P2)

● { 調査・説得力は?
行政のチェック度は? → II. 観点編 (P8)
議場での態度は?
議会改革姿勢は?

● どんな議員だった? → III. 総評編 (P10)

議員の『通信簿』はこのようにして作られた

今年4月に統一地方選挙を控え、私たちは市議会における議員の役割を考え、また4年前に選んだ議員たちのその後の成績を検証する必要性を感じています。そこで、本会は4年前に続き、再び議員の『通信簿』を作成しました。議員の成績は多面的な視点から検証しなくてはなりません、ここではあくまでも日ごろの傍聴活動を通して見た採点です。



ポイントは公約の達成にどれだけ努めたか（公約編）、議員としての資質をどう見たか（観点編）です。資質は議員にとって不可欠な「調査・説得力」「行政チェック度」「議場での態度」「議会改革姿勢」の4つの観点到に絞りました。『通信簿』の本体部分といえましょう。そして総合的な評価（総評編）も付け加えました。

これらの採点は不偏不党の立場で、複数の傍聴者の合議によりなされました。この『通信簿』が議員選択の“一つの”参考資料としてお役に立つことを願っています。

相模原市議会をよくする会／通信簿作成委員会
代表 赤倉昭男

I. 公約編について

● 公約とは何か

「公約」とは、有権者に対する候補者の政策についての約束であり、一般には公職選挙に際して選挙管理委員会が発行・配布する『選挙公報』に掲載される。有権者にとっては、公に取得できる唯一の情報といってもよい。最近では国政や県レベルの首長の選挙で使われるマニフェストという言葉も知られ、その意味は政権公約と解されている。これまでの抽象的な選挙公約とは違い、達成時期や財源、それにプロセスなどを明示するのが普通である。

市議会レベルの公約は、地域特有の課題に取り組むテーマが多く分かりやすいが、中にはひどく抽象的なスローガンだけで、公約になり得ないものもある。しかし、この「通信簿」ではあえて立候補時（2003年4月）に選挙公報の中の公約と見られるものを対象に評価することにした。

● 公約達成への努力で採点

ここでは公約の内容がよいとか悪いとかの採点はしていない。採点は、あくまでも議員がどれだけ公約達成のために積極的に質問に立ち、市側に実現の必要性を訴えたかを見た。対象とする議会（定例会）は合計15回あった。そのうち何回一般質問を行い、その際何回公約に言及したかを調査した。

通信簿 I. 公約編 (議席番号 1~5) (敬称略)

2003(平成15)年6月から2006(平成18)年12月まで15議会、そのうち何回質問し、公約に何回言及したかによる判断。

尚、辞職した3議員—武原祐子[たけはらゆうこ]議席番号3、岩上容子[いわがみようこ]議席番号9、河本文吉[かわもとぶんきち]議席番号50—については、評価しなかった。

また、合併後就任(平成18年4月)した3議員—小野沢耕一[おのざわこういち]議席番号10(津久井町選出)、大神田日本[おおかんだやまと]議席番号11(相模湖町選出)、宮下奉機[みやしたたまさき]議席番号12(津久井町選出)—についても、在任期間1年未満のため評価しなかった。

● 掲載内容



議席番号 議員氏名 (会派名・年齢—2007年2月11日現在)

一般質問の回数 (公約に言及した回数) 評価

写真

- ① } 選挙広報から公約と見られるもの3項目。
- ② } 主に、質問でふれたものを記したが、言及してない
- ③ } ものも含まれている。

● 公約採点基準

評価	質問回数	公約言及
落第	0	0
不可	1~15	0
可	1~3	1~3
	4~9	1~2
	10~15	1~4
良	4~9	3~9
	10~15	5~7
優	7~14	6~8
	15	8~9
秀	10~14	9~14
	15	10~15

1 小池義和 (民主クラブ・29歳)

7回 (2回) 可



- ①交通渋滞を解消し、安全な道路の街に
- ②各世代のニーズに応えた街に
- ③24時間安心外出できる街に

4 岩本香苗 (神奈川ネット・49歳)

15回 (9回) 優



- ①地域福祉を担うNPOを支援
- ②子育て支援の仕組みづくり
- ③市民によるダイオキシン測定推進

2 大沢洋子 (民主クラブ・53歳)

8回 (1回) 可



- ①待機児童解消、保育所の定員増、学童保育の充実
- ②学校規模の適正化と新教育環境実現
- ③ごみ減量化、資源リサイクルの徹底

5 東條恵美子 (無所属クラブ・61歳)

13回 (9回) 秀



- ①南清掃工場建替に市民参加の検討委員会を
- ②高齢者用「寄り合い所」のNPOを支援
- ③破綻した再開発の白紙化と商店街の活性化

通信簿 I. 公約編 (議席番号 6~19) (敬称略)

2003(平成15)年6月から2006(平成18)年12月まで15議会、そのうち何回質問し、公約に何回言及したかによる判断。詳しくはP3の公約採点基準を参照して下さい。

6 ^{にしむらあやこ} 西村綾子 (無所属クラブ・66歳)

15回 (13回) 秀



- ①戦争と戦争動員反対
- ②教育基本法改悪反対
- ③環境破壊やめさせ労働者市民の健康を守る

15 ^{ながともよしひろ} 長友克洋 (民主クラブ・36歳)

15回 (10回) 秀



- ①議会改革の実現 (活性化と公開)
- ②情報公開の実現 (税金使途の公開)
- ③行財政改革の実現 (公・民の役割見直し)

7 ^{ともなりよういち} 友成洋一 (社会民主党・62歳)

5回 (3回) 良



- ①平和で豊かな教育文化都市の実現

16 ^{かとうあきのり} 加藤明德 (公明党・49歳)

7回 (5回) 良



- ①小児救急医療 24時間体制の拡充
- ②乳幼児医療無料化拡大と所得制限撤廃
- ③都市型災害対策の充実

8 ^{かねこときお} 金子豊貴男 (社会民主党・57歳)

15回 (15回) 秀



- ①保険、医療、福祉の充実を進める
- ②自然環境の保全、身近な環境問題に取り組む
- ③基地返還や爆音被害をなくす活動に取り組む

17 ^{よねやまさだかつ} 米山定克 (公明党・55歳)

7回 (5回) 良



- ①夜間の道路照明灯の充実
- ②いじめ、不登校問題に積極的に取り組む
- ③循環型社会の構築

13 ^{あべよしひろ} 阿部義博 (市政クラブ・36歳)

6回 (6回) 良



- ①セキュリティー向上で安心安全
- ②世界へ向けての情報発信
- ③緑の保全

18 ^{ながともよしき} 長友義樹 (無所属クラブ・62歳)

7回 (4回) 良



- ①市役所の土日・祝日開庁／職員数大幅減
- ②市議会議員半減し23名へ
- ③市長の4年ごとの退職金はノー

14 ^{てらやま たけし} 寺山 猛 (民主クラブ・61歳)

0回 落第



- ①交通網の整備で交通渋滞の解消
- ②新産業の促進と商店街の活性化
- ③主要駅を核に駅前整備開発

19 ^{たなかたけお} 田中武夫 (日本共産党・70歳)

11回 (8回) 優



- ①有事法制に反対／米軍基地の全面返還
- ②介護保険改善、障害者福祉の拡充
- ③働く者の生活と権利を守る

通信簿 I. 公約編 (議席番号 20~29) (敬称略)

2003(平成15)年6月から2006(平成18)年12月まで15議会、そのうち何回質問し、公約に何回言及したかによる判断。詳しくはP3の公約採点基準を参照して下さい。

20 ^{まつなが ちかこ} 松永千賀子 (日本共産党・51歳)

13回 (10回) 秀



- ① 中学校完全給食
- ② 30人学級実現
- ③ 介護保険改善

25 ^{すだ たけし} 須田 毅 (市政クラブ・64歳)

6回 (6回) 良



- ① こどもセンターの建設促進
- ② 都市交通の整備 (バス路線の改善)
- ③ 地元商店街の活性化

21 ^{ふじい かつひこ} 藤井克彦 (日本共産党・47歳)

13回 (8回) 優



- ① 住宅密集地上空の飛行訓練中止で騒音解消
- ② 大型開発の見直しで環境重視のまちづくり
- ③ 暮らし・福祉・教育の充実を予算の主役に

26 ^{ぬまくら こうた} 沼倉孝太 (市政クラブ・60歳)

6回 (4回) 良



- ① 小中一貫教育や中高一貫の市立高校実現
- ② キャンプ淵野辺留保地開放
- ③ 矢部駅バリアフリー化、南北自由通路実現

22 ^{かんの みちこ} 菅野通子 (日本共産党・65歳)

11回 (7回) 優



- ① 介護保険の負担軽減で使いやすい制度に
- ② 失業者の生活保障制度の創設
- ③ 30人学級の実現

27 ^{せきやま ゆきえ} 関山由紀江 (公明党・57歳)

7回 (0回) 不可



- ① 24時間生活相談センター設置
- ② 女性専門外来の設置
- ③ 高齢者・障害者のための一般ごみ個別収集実現

23 ^{なかむら まさはる} 中村昌治 (市政クラブ・45歳)

7回 (7回) 優



- ① 都市交通システムの確立
- ② 観光事業の充実
- ③ 自然環境の保全

28 ^{すがわら やすゆき} 菅原康行 (公明党・57歳)

6回 (2回) 可



- ① 高齢者の能力・技能活用場の設置
- ② 通学路交通安全確保に指導員の増員

24 ^{ほそや まさゆき} 細谷政幸 (市政クラブ・48歳)

7回 (7回) 優



- ① 教育の充実と健全育成の強化
- ② 自然と調和した住み良い街づくり
- ③ 駅周辺のソフト面のインフラ整備

29 ^{おおうえ かずお} 大上和夫 (公明党・59歳)

5回 (2回) 可



- ① 道路・バス交通網の整備
- ② 自然の保護と緑化の推進
- ③ 高齢社会に対応できる福祉と医療体制の推進

通信簿 I. 公約編 (議席番号 30~39) (敬称略)

2003(平成15)年6月から2006(平成18)年12月まで15議会、そのうち何回質問し、公約に何回言及したかによる判断。詳しくはP3の公約採点基準を参照して下さい。(敬称略)

30 やまさきじゅんじ
山崎 順二 (公明党・56歳)

3回 (2回) 可



- ①小児医療無料化拡大と所得制限撤廃
- ②いじめ、不登校、ひきこもりの解消策拡充
- ③循環型社会推進

35 かわたもとあき
川田 基晶 (市政クラブ・70歳)

2回 (1回) 可



- ①子育て施設の充実
- ②津久井4町、町田市との合併
- ③元気で暮らせる環境づくり

31 くぼたはやお
久保田 隼夫 (市政クラブ・64歳)

6回 (1回) 可



- ①自然の豊かさを誇れる街づくり
- ②健康づくり生きがいがづくり
- ③ゼロエミッション社会の構築

36 おまたあきら
小俣 旭 (市政クラブ・79歳)

1回 (0回) 不可



- ①融資の簡素化と中小企業活性化の推進
- ②上溝地区の商工振興に援助
- ③行革の推進と行政業務の民間委託促進

32 きしなみたかし
岸浪 孝志 (市政クラブ・55歳)

4回 (4回) 良



- ①救急体制の整備と防災体制の充実
- ②自然の豊かさを誇れる街づくり
- ③子育て支援の充実

37 さとうけんじ
佐藤 賢司 (市政クラブ・61歳)

2回 (2回) 可



- ①行財政改革の積極的推進
- ②高齢化に対応できる福祉行政
- ③交通網の整備、新交通システムの推進

33 かわかみかずゆき
川上一 行 (市政クラブ・60歳)

4回 (4回) 良



- ①地域経済の活性化と雇用機会の確保
- ②健全な市政運営の実現
- ③政令指定都市を視野に入れた合併の推進

38 おりかさみねお
折笠 峰夫 (市政クラブ・63歳)

1回 (1回) 可



- ①福祉→快適な生活は住み慣れた地域で
- ②航空機騒音の解消と基地返還
- ③都市基盤→市民生活に利便性と快適性を

34 いながきみのる
稲垣 稔 (市政クラブ・63歳)

3回 (3回) 可



- ①麻溝台・新磯野開発
- ②さがみ縦貫道ICと町田相模線の整備
- ③麻溝、新磯消防分署設置

39 やましたまさし
山下 昌志 (市政クラブ・70歳)

1回 (1回) 可



- ①東林間・相模大野のふれあい街づくり
- ②新交通システムの早期確立
- ③地域産業の育成と商店街の支援

通信簿 I. 公約編 (議席番号 40~49) (敬称略)

2003(平成15)年6月から2006(平成18)年12月まで15議会、そのうち何回質問し、公約に何回言及したかによる判断。詳しくはP3の公約採点基準を参照して下さい。(敬称略)

40 ^{やまだ ひろし} 山田 弘 (公明党・65歳)

5回 (2回) 可



- ①社会教育やスポーツの振興促進
- ②高齢化社会対応、健康と生きがい対策の充実
- ③交通システムの充実とバリアフリーの促進

46 ^{ほそや たつし} 細谷達司 (市政クラブ・74歳)

2回 (2回) 可



- ①産業振興、経営安定の諸施策推進
- ②都市インフラ整備
- ③安全なまちづくり

41 ^{こばやし いちろう} 小林一郎 (公明党・58歳)

6回 (3回) 良



- ①段差等のない優しい街づくり
- ②文化芸術振興、教育の充実
- ③災害に強い都市、犯罪のない街を築く

47 ^{ゆい あきお} 由比昭男 (市政クラブ・73歳)

2回 (0回) 不可



- ①パートナーシップによる街づくり
- ②新交通システムの早期実現
- ③市本部と民間企業の連携で雇用問題解決

43 ^{くぼ たよしのり} 久保田義則 (市政クラブ・73歳)

1回 (1回) 可



- ①駅周辺の市街地活性化
- ②要介護者施設入居待ち解消
- ③産業振興と環境保全に努める

48 ^{いまい みつる} 今井 満 (市政クラブ・71歳)

1回 (0回) 不可



- ①歴史を守り、新市政への調和のとれた街づくり

44 ^{いしい せんたろう} 石井千太郎 (市政クラブ・71歳)

3回 (3回) 可



- ①広域交流都市の構築
- ②災害に強い街づくり
- ③バス網と鉄道網の整備

49 ^{みぞふち せいし} 溝渕誠之 (市政クラブ・83歳)

3回 (3回) 可



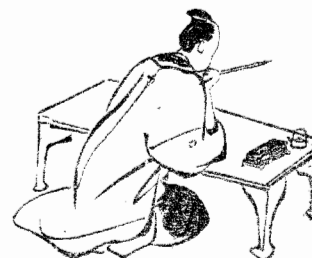
- ①津久井・城山との合併
- ②高齢者生活支援、子育て支援
- ③介護の充実

45 ^{やまぎし かずお} 山岸一雄 (市政クラブ・71歳)

2回 (2回) 可



- ①中核市に相応しい市政の推進
- ②行財政改革の断行と広域行政の推進
- ③少子高齢化対応で保険、医療、福祉の一体的推進



II. 観点編について

● 採点者

「相模原市議会をよくする会」のメンバーのうち、過去3年半にわたり本会議、常任委員会、議会運営委員会などを各定例会で数日傍聴し、各議員の議会活動をよく知る会員。

● 採点方法

始めに議員活動に欠かせない資質を4つの観点から項目化した。採点者はそれぞれ、各議員について項目別にAからDの4段階で採点した。次いで、各採点者が自分の採点を発表しあい、最も多い採点を採用することにした。同点になった場合は、公約達成努力や一般質問の回数などを勘案した。

● 観点項目の説明

「調査・説得力」	表現力、発声・明瞭度はじめ、充分な調査の裏づけにより本会議での一般質問や常任委員会での質疑で説得力が発揮されているかを問う。
「行政チェック度」	議員本来の役割でもっとも大切な行政(市長部局)の執行状況や妥当性を分析・調査し、それを一般質問や常任委員会で積極的に数多く、かつ効果的に発言・チェックしていたかを採点した。
「議場での態度」	本会議場や常任委員会での態度に限定した採点であり、出欠、離席の頻度や着席時の姿勢、さらに私語、居眠り、他議員の質問時における傾聴度、野次、特定の傍聴者へのパフォーマンス、審議と関係ない私的な行動(手帳の整理、読書など)などあらゆる角度からの総合評価。
「議会改革姿勢」	従来の非効率・非民主的・非合理的な慣習に対する改革姿勢を問うもの。議会制度検討会や議会運営に関する発言、議案の審議の際のルール全般への考え方を見た。また少数会派や無所属議員の議員固有の権利に対する理解度も勘案した。

観点項目別 A(十分満足できる)・D(一層の努力を要する)のグループ一覧

調査・説得力	A 阿部義博、長友克洋、長友義樹、田中武夫、松永千賀子、藤井克彦、菅野通子、佐藤賢司、溝渕誠之 D 大沢洋子、須田 毅、沼倉孝太、関山由紀江、菅原康行、小俣 旭、石井千太郎、
行政チェック度	A 東條恵美子、西村綾子、友成洋一、長友克洋、長友義樹、松永千賀子、藤井克彦、菅野通子、溝渕誠之 D 大沢洋子、寺山 猛、須田 毅、沼倉孝太、関山由紀江、菅原康行、大上和夫、山崎順二、久保田隼夫、岸浪孝志、川上一行、稲垣 稔、川田基晶、小俣 旭、折笠峰夫、山田 弘、小林一郎、久保田義則、石井千太郎、山岸一雄、今井 満
議場での態度	A 小池義和、岩本香苗、東條恵美子、西村綾子、金子豊貴男、阿部義博、加藤明德、田中武夫、松永千賀子、藤井克彦、中村昌治、沼倉孝太、山崎順二、久保田隼夫、川上一行、山田 弘、小林一郎 D 米山定克、稲垣 稔、川田基晶、折笠峰夫、山下昌志、石井千太郎、今井 満
議会改革姿勢	A 岩本香苗、東條恵美子、西村綾子、長友克洋、田中武夫、松永千賀子、藤井克彦、菅野通子 D 寺山 猛、細谷政幸、須田 毅、沼倉孝太、関山由紀江、菅原康行、大上和夫、山崎順二、久保田隼夫、岸浪孝志、稲垣 稔、川田基晶、小俣 旭、佐藤賢司、折笠峰夫、山下昌志、山田 弘、小林一郎、久保田義則、石井千太郎、山岸一雄、細谷達司、今井 満

通 信 簿 II. 観 点 編 (敬称略)

A. 十分満足できる B. おおむね満足できる C. 努力を要する D. 一層の努力を要する										
議席番号 議員名 観点	1 小池 義和	2 大沢 洋子	3 欠員	4 岩本 香苗	5 東條 恵美子	6 西村 綾子	7 友成 洋一	8 金子 豊貴男	9 欠員	10 小野沢 耕一
調査・説得力	B	D	/	B	B	B	B	B	/	H18年4月 合併後の 就任のため 期間短かく 評価せず
行政チェック度	B	D	/	B	A	A	A	B	/	
議場での態度	A	B	/	A	A	A	B	A	/	
議会改革姿勢	B	C	/	A	A	A	B	B	/	

議席番号 議員名 観点	11 大神田 日本	12 宮下 奉機	13 阿部 善博	14 寺山 猛	15 長友 克洋	16 加藤 明德	17 米山 定克	18 長友 義樹	19 田中 武夫	20 松永 千賀子
調査・説得力	H18年4月 合併後の 就任のため 期間短かく 評価せず	H18年4月 合併後の 就任のため 期間短かく 評価せず	A	C	A	B	C	A	A	A
行政チェック度			B	D	A	C	C	A	B	A
議場での態度			A	C	C	A	D	B	A	A
議会改革姿勢			B	D	A	B	C	B	A	A

議席番号 議員名 観点	21 藤井 克彦	22 菅野 通子	23 中村 昌治	24 細谷 政幸	25 須田 毅	26 沼倉 孝太	27 関山 由紀江	28 菅原 康行	29 大上 和夫	30 山崎 順二
調査・説得力	A	A	B	C	D	D	D	D	C	C
行政チェック度	A	A	C	C	D	D	D	D	D	D
議場での態度	A	C	A	B	B	A	B	B	C	A
議会改革姿勢	A	A	B	D	D	D	D	D	D	D

議席番号 議員名 観点	31 久保田 隼夫	32 岸浪 孝志	33 川上 一行	34 稲垣 稔	35 川田 基晶	36 小俣 旭	37 佐藤 賢司	38 折笠 峰夫	39 山下 昌志	40 山田 弘
調査・説得力	C	B	B	C	C	D	A	B	B	C
行政チェック度	D	D	D	D	D	D	B	D	C	D
議場での態度	A	B	A	D	D	C	C	D	D	A
議会改革姿勢	D	D	C	D	D	D	D	D	D	D

議席番号 議員名 観点	41 小林 一郎	42 欠番	43 久保田 義則	44 石井 千太郎	45 山岸 一雄	46 細谷 達司	47 由比 昭男	48 今井 満	49 溝渕 誠之	50 欠員
調査・説得力	C	不吉という ことで使用 していない	C	D	C	C	B	C	A	/
行政チェック度	D		D	D	D	C	C	D	A	/
議場での態度	A		C	D	B	B	B	D	C	/
議会改革姿勢	D		D	D	D	D	C	D	B	/

通信簿 III. 総評編 (敬称略)

議席番号	議員名	総括コメント
		□ は辞職した議員
1	小池義和	最年少議員。旧態議会に潰されたのか当初の勢いが先細り。やや期待外れ。
2	大沢洋子	教育問題に取り組むが、相変らずの自己陶醉型の質問に議場はウンザリ。
3	武原祐子	病氣理由で欠席多く、遂に「一身上の都合」で昨年12月に辞職。
4	岩本香苗	地味ながら言うことは言う姿勢で質問、議案には是々非々で対応した。
5	東條恵美子	ゴミ問題や公共事業への疑問を市民の視点から行政に向かう注目議員。
6	西村綾子	戦争・基地反対を信念とするが、地方議会に相応しいテーマの追及も。
7	友成洋一	教育問題に特化し教育委員会泣かせ。メリハリの効いた質疑はいい。
8	金子豊貴男	基地問題の情報通。最近では生活環境問題にも取り組んでいる。
9	岩上容子	1年半以上の長期病欠の後、昨年2月に「一身上の都合」で辞職。
10	小野沢耕一	} 昨年3月の合併後の選出議員、短期間の活動で評価せず。
11	大神田日本	
12	宮下奉機	
13	阿部義博	電子自治体推進の旗手だが、市政の監視にもさらに取り組むべき。
14	寺山 猛	1回も質問しない民主クラブの代表。民主党らしくない会派はこの人のせいかな。
15	長友克洋	雄弁会風の質問で市長を追及するも、あげくの議案賛成はなぜ。居眠りもなぜ。
16	加藤明德	公明党の中堅議員。会派の方針にこだわらない言動が光る。
17	米山定克	壇上での発言はわかりよいが、自席では居眠りが目立つ。
18	長友義樹	情報通はキャリアの実績。市長の退職金制度追及はライフワークか。
19	田中武夫	穏やかな語り口が特徴だが、平和維持や基地問題の追及は欠かさない。
20	松永千賀子	議案の勉強は議員の中でもトップクラス。めげない姿勢は見事。
21	藤井克彦	議会での議論展開は抜群。時々発言が詰まるなど正直さが見える議員。
22	菅野通子	弱者の味方。この人が発言する時は議場が静かに構えるほど説得力がある。
23	中村昌治	現場主義を標榜する新人議員だが、市政批判はもの足りない。
24	細谷政幸	ベテランの父を継ぐ二世議員。質疑に新人らしさが見えない。
25	須田 毅	地元優先もいいが、議員本来の仕事をするレベルの向上が必要。
26	沼倉孝太	2期目も終わるが、再質問の要領がつかめず、立ち往生は変わらず。
27	関山由紀江	一般質問は7回「又聞き」のオンパレード。具体的に掲げた公約に全くふれず。
28	菅原康行	本会議場では決して眠らないが、注目に値する発言は聞かれない。
29	大上和夫	自信過剰か、与党議員の奢りか、異なる意見に耳を貸さない。不遜。
30	山崎順二	副議長で議長席に座っても存在感なく、議場の整理の采配できず。
31	久保田隼夫	発言内容は地元誘導お願い型。地元ではそれなりの評価を得るといふ。
32	岸浪孝志	会派内の発言力は大きか。組合バックで強気な発言が目立つ。
33	川上一行	総務委員長の采配は予想以上、会派の政務調査会長で成長したか。
34	稲垣 稔	議会運営委ではリーダー的発言者だが、経営者必ずしも議員に向かぬか。
35	川田基晶	議場での退屈そうな姿が印象的。前後左右との会話が目立つ。
36	小俣 旭	登壇での議場の拍手は何故か抜群。副議長時代も存在感せずアイドルに徹した。
37	佐藤賢司	説得力際立つ与党のリーダー格だが、ワンマン的手法には批判も。
38	折笠峰夫	議場の私語はこの人の専売特許。まとめ上手だが発言に記憶に残るものなし。
39	山下昌志	議員生活長く、市幹部とのパイプも太く、議会外での交渉力が売りか。
40	山田 弘	常任委員会の質疑は職員を諭すごとき姿勢。要望も次から次へと。
41	小林一郎	会派のベテラン組の一人だが、目立った言動なく派内のまとめ役に。
43	久保田義則	議場の席替えて、私語の仲間と離れ、沈思黙考、左右わき見の日々。
44	石井千太郎	本会議の採決を欠席、家族との海外旅行を優先した問題外の議員。
45	山岸一雄	出身地津久井との合併に全精力を使い果たし、他に見るべき実績なし。
46	細谷達司	昔は違ったとの評価だが、今は市政クラブの代表としての存在だけ。
47	由比昭男	理論より感情移入型。今は相模大野駅北口の放置自転車対策に腐心か。
48	今井 満	2度目の議長職も疲れ気味。副議長との頻繁な交代は「慣習」と言い訳。
49	溝渕誠之	本会議での度重なる離席は問題だが、委員会での発言で存在感を示す。
50	河本文吉	丸一年の長期病欠の後、「一身上の都合」で昨年12月に辞職。

採点を終えて

— 会員の言葉 — (五十音順)

議会監視8年目の落胆

赤倉昭男 (南台)

早いもので、議場に入出入りするようになってもう 8 年目に入る。議員なら“2 期目”を終える時期だ。「議会をよくする」と看板を掲げてから果たして議会はよくなったか。議員はどうか。

採点してみると、次第に成果を挙げている議員、逆に議会のぬるま湯でだめになった議員といろいろだ。4 月の統一地方選に向けて、恥ずかしくもなく選挙の準備をするダメ議員を見ると落胆する。「選ぶ市民が悪い」と、私の耳に天の声が響く。

議員の権利はみな平等

篠田房枝 (陽光台)

選挙が近づいた。議員には誰でもなれるが、資質が問われる。倫理感と正義感、公明正大さ、そして庶民感覚が不可欠だ。

これまで傍聴を通して議員諸氏を間近にみてきたが、その役割を全うするのは大変なことだと感じている。反面、全うしなくても済んでしまう議員の存在にも驚いている。一人で全てを行うのは容易ではないから、理解しあえる同士が協同し分担し合うのは良いとしても、すべて会派で動くのは問題だ。採決には会派統一ではなく、個々の議員が自分の判断で臨むべきだ。議員の権利は全員平等なのだから。

質の高い議会を望む

飯田順朗 (上溝)

70 万人の都市として質をもっと高くした議会であってほしいと望みます。セレモニーで良しとはしていないにしても、緊張感のない質疑の応答は、議会の必要性に疑問を感じさせる。ぜひ、関係者自ら改善してほしい。特に議長の役目が見えない。

有権者は、庶民が税金などの負担増に苦しんでいる時に、政務調査費の増額や海外視察の再開のようなお手盛り体質の議員を選んではいけない。

一票の重さ

首藤 清 (相南)

市議会議員の選挙が 4 月に行われる。有権者には一票の重さが課せられる時です。当選者はその一票で 4 年間議員を続け、活動し、多数決の世界で物事を決めていきます。後から、裏切られたと言っても、その人物を選んだ有権者が悪いのです。

今度こそ高い見識と行動力を持った人を見定め、責任の重い一票を投じたいと思っている。また当選者はその時の感動を心に刻み、相模原市政のために邁進してほしい。そして同時に公約と初心は絶対に忘れないでほしい。

まだまだ古い議会と議員

大野千恵子 (相武台団地)

入院するまで傍聴を欠かさなかった私として感じていることがある。少しずつではあるが議会に変化が見られたが、それは当たり前のことがやっと少し形になっただけで、まだまだ古い体質を持っており、市民の代表である議員たちが「議会」を市民から遠い存在にしているということです。

今回、この評価を参考にして、市民のことを考え『議会の役割』をしっかり担ってくれる人を選んでほしい。



市議会のある相模原市役所本庁舎

採点を終えて

— 会員の言葉 — (五十音順)

投票権行使の一助に

豊田泰蔵 (南台)

民主主義の本質ともいえる「投票権」を我々はあまりにも軽く考えているのではないか。我々の生活を左右し、将来を左右し、人間の存在の基盤である環境さえも左右することができるのが、国を始めとして各地方自治体の議員なのだとすることを考えたら、「オレ一人くらい投票に行かなくても…」などと考えることの愚かさを知るべきである。

今回の採点表を見ていただき、我々が投票した議員、また投票しなかったために当選した議員の実態を知ること、投票の大切さを知る一助ともなれば幸いである。

公約実現の努力は？

二川昭三 (鶴野森)

公約は選挙に当選するためのアドバルーンなのか、運よく当選した暁にはすっかり忘却の彼方に。党や会派の締め付けが厳しいためか、あまりにも抽象的(漠然)なものが多いようだ。

市民に約束し、市民に選ばれた議員。真剣に取り組んでいる一部の議員と他の議員との格差がありすぎるようだ。100年後あるいは政令指定都市を目指すという「平成の大合併」に安易に賛成し大きな負債を背負い込んだ平成18年度時の大部分の議員たち。議会制民主主義の原点に戻り、いま一段の努力とまじめな議会運営を望むや切なり。

議員選択の道しるべに

中山貞望 (富士見)

約4年前に各議員が発表した公約と、これまでの本会議・委員会での質疑応答の傍聴結果を評価材料として、30時間以上を費やし、第2回目の通信簿を会員の共同作業で作り上げた。

前回と異なり、今回の方が市民が置かれている状況は極めて厳しくなった。悪くなることはあっても、良くなる見込みはないと言える。議員の選択に真剣さがないと、つまり市民の自覚度に比例した議会が誕生する。その結果は必ず自らの生活にはね返ってくる。地方分権時代とはそうした時代なので、市民各位におかれては、この通信簿を議員選択の参考にして頂きたい。

物言える市民がいる

渡辺登志子 (新磯野)

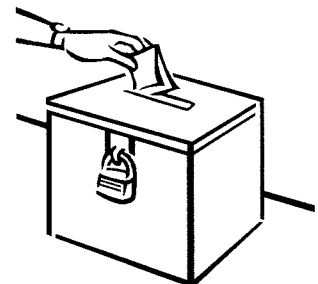
4年前に1回目の通信簿を手にした時、「生きていて良かった！」と思うほど、感動した。その感動がどこから来たのかと思うに、強烈なメッセージを送る“物言える市民”の存在だった。不偏不党・中立というのも気に入った。以来、一員として、議会の傍聴を続け、ついに通信簿づくりとなった。

採点に際しては皆で話し合い、極力偏った見方は避けた。だから多分、しがらみの無い人なら誰が傍聴者になっても、しばらくすれば同様の感想をもつはずだとの自負がある。

信頼に足る通信簿です。

© SAGAMIHARA SHIGIKAIWO YOKUSURUKAI

許可なく転載・複製を禁じます。



□問い合わせ先□ 相模原市議会をよくする会 (代表・赤倉昭男)

〒228-0814 相模原市南台 5-13-8 TEL042-749-9140